

## トムス レクサスNX リヤアンダースポイラー(Wテールマフラー専用)

このたびは、トムス リヤアンダースポイラー（以下リヤアンダースポイラー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。（2015年6月 現在）

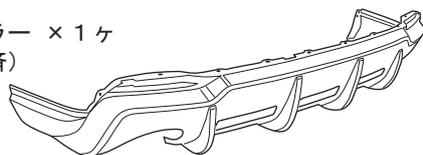
適応車種
レクサス NX 200t/300h (AGZ1#, AYZ1#) 平成26年 7月～ ※純正オプションのマッドガードとの同時装着はできません。 ※トムスバレルマフラー（品番：17400-TAZ10、TAZ11）と同時装着してください。

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. スポイラー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
2. スポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。  
リヤアンダースポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジトラック等で車両を固定してください。
4. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。  
（詳しくは「リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順」を参照の事）  
⇒塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行ってください。\*60度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。
5. ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
6. 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。  
（詳しくは「3M PACプライマーN-200 取扱説明書」を参照の事）  
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
7. 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
8. 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後（24時間以内を目安）の洗車は行わないでください。両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
9. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
10. スポイラー装着により、標準バンパーより全長約22mm長くなり、地上高約33mm低くなります。
11. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
12. 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

①リヤアンダースポイラー ×1ヶ  
(※ブラケット組付け済)



②M6フランジボルト  
(6x12) ×12ヶ



③M6フランジナット  
×12ヶ



④M4タッピングスクリュー  
×4ヶ



⑤ゴムスペーサ  
3mm ×4ヶ



⑥ゴムスペーサ  
5mm ×4ヶ



⑦プライマー×1ヶ

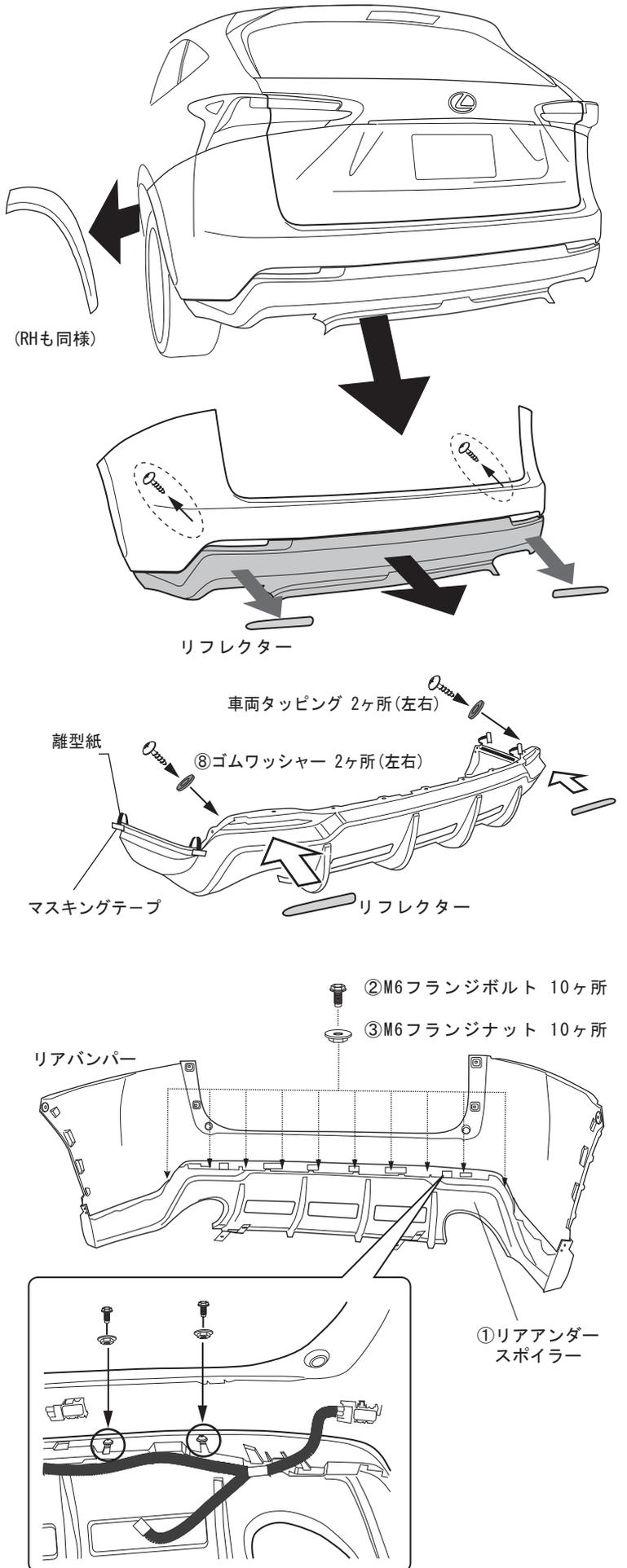


⑧2mmゴムワッシャー  
×2ヶ



# 取付手順

## 1. 取付け準備と仮組み



1-1. 車両からリア・フェンダーモール（後ろ半分）を取り外す。（L/R両方）

1-2. 車両からリアバンパーを取り外す。

1-3. リアバンパーからロアバンパーを取り外す。（ロアバンパーは再使用しない。）

1-4. ロアバンパーからリフレクター（L/R両方）を取り外す。（リフレクターと車両タッピングは再使用する。）

### アドバイス

※各パーツを取り外す際は、整備マニュアルを参照して下さい。

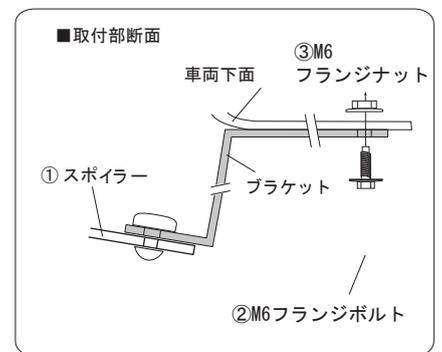
※取り外した車両ビス・車両クリップは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

1-5. 取り外したリフレクター（L/R）を車両タッピングと⑧2mmゴムワッシャーで①リアアンダースポイラーに取付ける。

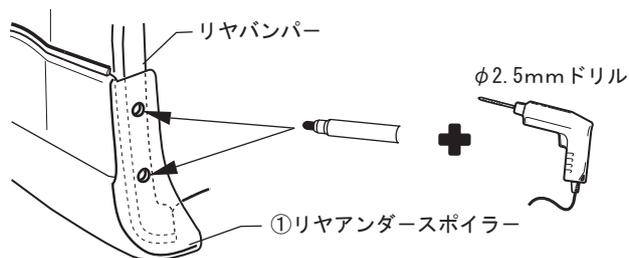
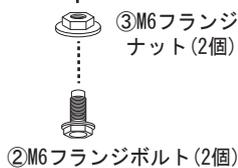
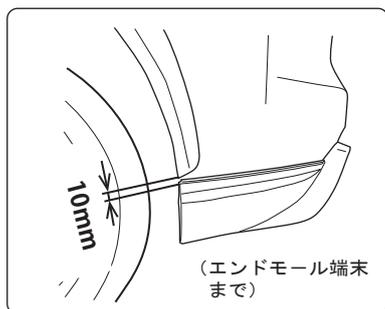
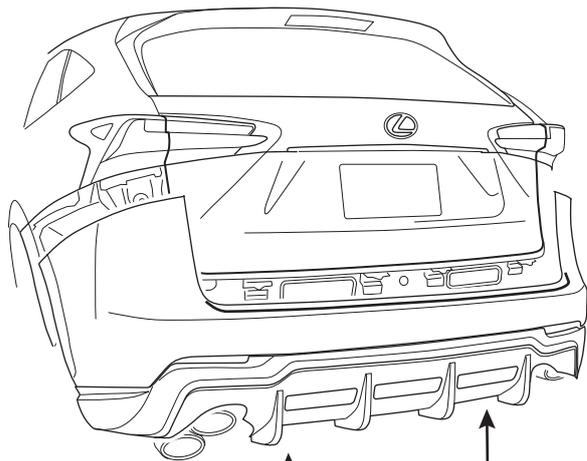
1-6. ①リアアンダー・スポイラーの両面テープ剥離紙を50mmほど剥がし、表面側に折り返しマスキングテープで貼り付ける。（左図参照）

1-7. 差し込み口を利用し、リアバンパーに①リアアンダースポイラーを②M6フランジボルト・③M6フランジナットで10ヶ所仮止めする。（左図参照）

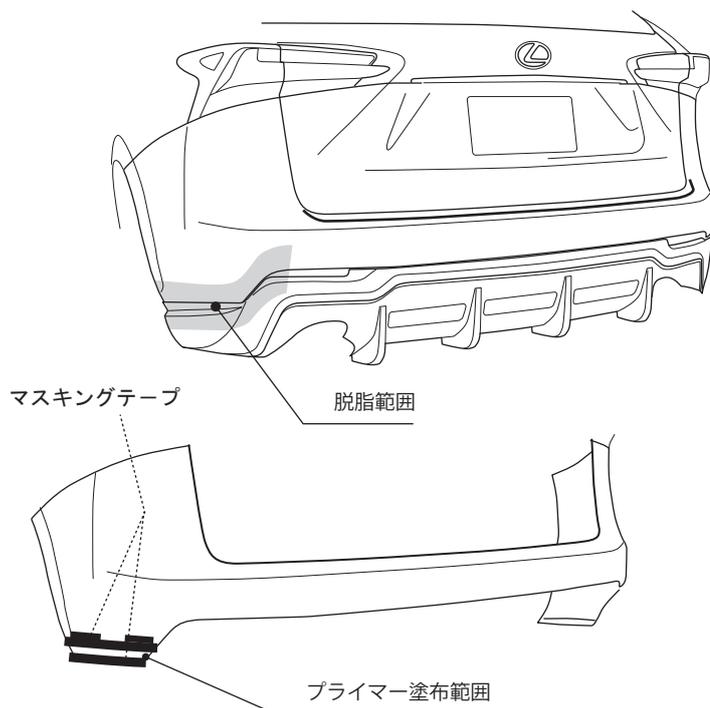
1-8. 車両へリアバンパー、リア・フェンダーモールを戻し、リアアンダースポイラーの下面ブラケットを車両下面の締結穴へ②M6フランジボルト、③M6フランジナットで仮止めする。



リアアンダースポイラーのエンドモールとバンパーの間に隙間が発生する場合は、リアアンダースポイラー位置に原因があります。スポイラーを約5mm範囲内で上下の位置、左右の位置を調整する。



## 2. プライマーの塗布と取付け



1-9. リアフェンダーモール端末からリアアンダースポイラーのエンドモールまでの寸法が10mmとなる位置で取付け位置を決め②M6フランジボルト、③M6でフランジナットでリアアンダースポイラーを車両下面締結穴へ仮固定する。(左図参照)

1-10. 取付け位置を確認しガムテープ等で固定した後、タッチ面アウトラインをエンドモール上端に合わせ、マス킹テープでマーキングする。(左図参照)

1-11. フェンダーアーチ部の取付け位置を合わせてマーキングし、φ2.5mmの穴を2ヶ所空ける。

2-1. 両面テープ貼付け部のゴミ、ホコリをウエスで清掃し脱脂処理する。(左図参照)

2-2. 両面テープ貼付け位置を確認し、プライマー塗布範囲をマス킹テープでマス킹する。

2-3. 塗布範囲に⑦プライマーを塗布し十分に乾燥させる。(左図網掛け部)

👉 ボディーコート処理されている車両は、マス킹をして両面テープ貼付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

注意

脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う。

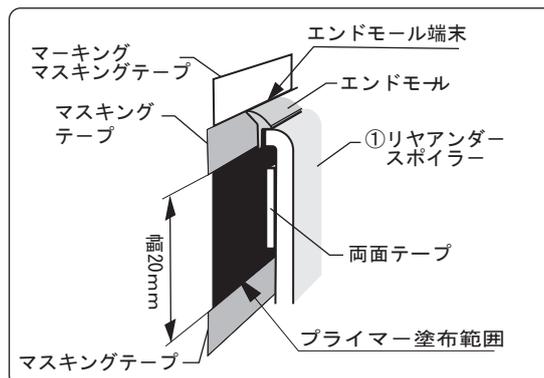
注意

塗布範囲は、エンドモール端末からのみだしがないように気を付けて作業を行う。

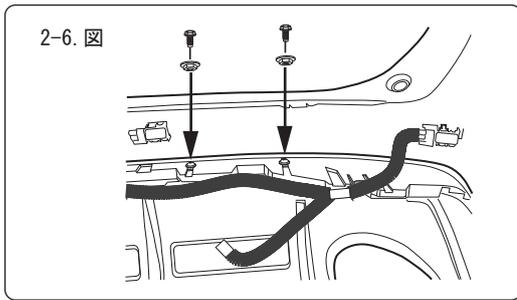
注意

プライマー使用に際しては、3M PACプライマーN200取扱説明書に従い使用する。乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。

気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

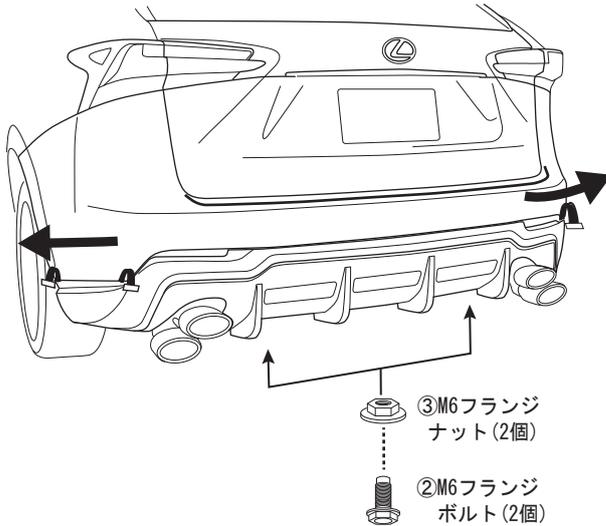


2-4. 一旦リアバンパーを外す。



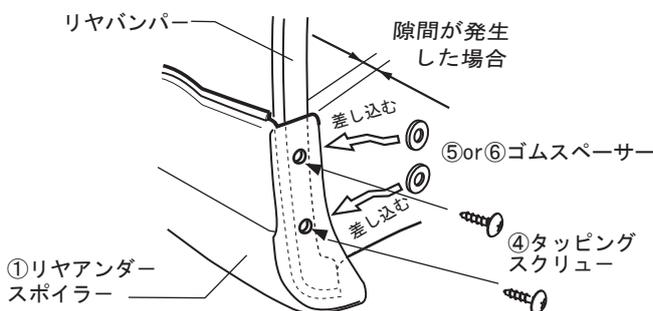
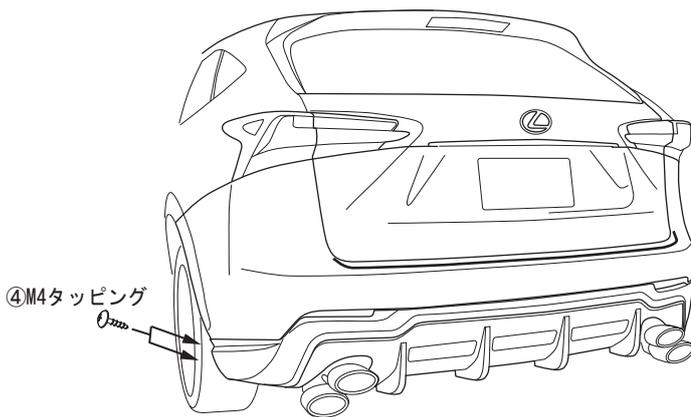
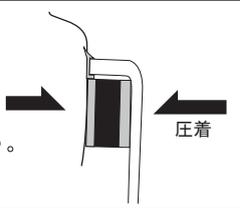
2-6. 図

### 3. 取付け



注意

両面テープの圧着は、  
車両が少しゆれる程度  
〔49N (5kgf/cm<sup>2</sup>)〕で行なう。



2-6. ①リアアンダースポイラーを奥に押し込みながらリアバンパーと①リアアンダースポイラーのフランジボルトを本締めする。  
(純正バンパーとの隙間を確認する。)

3-1. 車両本体へリアバンパーを戻し、②M6フランジボルト、③M6フランジナットで下面ブラケット2箇所を仮固定する。(取付方法・左図参照)

3-2. 全体のバランスを確認し、両面テープ剥離紙を車両中央から外側へ向かって引き抜きながら圧着する。

#### アドバイス/注意

- ※剥離紙を引き抜く際に、リアアンダースポイラーの取付け高さが変わらない様に注意して下さい。
- ※両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。
- ※剥離紙が途中で切れない様に、少し浮かしながら剥離紙を引き抜いて下さい。
- ※両面テープの圧着は、500kps (5kgf/cm<sup>2</sup>) 程度の力で行って下さい。
- ※リアバンパー内側へ手を入れ押さえ込む様圧着する。

3-3. フェンダーアーチ部を④タッピングスクリューで左右計4箇所共締めする。

3-4. リアアンダースポイラーの浮き・剥がれがないかを確認し、再度両面テープ貼付け面を圧着する。  
<重要>

3-5. 両面テープ貼付け後、3時間以上放置してから仮締め部分を本締めする。

#### アドバイス

リアアンダースポイラーの増し締め作業の際にフェンダーアーチ部に隙間が発生する場合は、⑤⑥ゴムスペーサーのうち適した物を挟み込んで取り付ける。

#### 取付断面図

- ⑤3mmゴムスペーサー
- or
- ⑥5mmゴムスペーサー

④4mmタッピングスクリュー

車両前側  
↑  
車両外側  
→

①リアアンダースポイラー

(お問い合わせ先)

(株)トムス

TEL 03-3704-6191

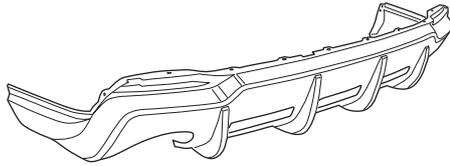
月～金 AM9:00～PM5:00

**TOM'S**

# リヤアンダースポイラー（Wテールマフラー専用）素地品の塗装手順

※素地品は塗装の前に、必ず仮取り付けをし、各部に不具合がないか確認してください。  
塗装後のクレームには応じません。

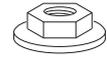
## 構成部品



①リヤアンダースポイラー × 1ヶ



②M6フランジボルト  
( 6x12 ) × 12ヶ



③M6フランジナット  
× 12ヶ



④ M4タッピング  
スクリュー × 4ヶ



⑤ゴムスペーサー  
3mm × 4ヶ



⑥ゴムスペーサー  
5mm × 4ヶ



⑦プライマー × 1ヶ



⑧2mmゴムワッシャー  
× 2ヶ



⑨エンドモール × 各1ヶ  
(ブラック、グレー)

## I 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. スポイラー中央下部を半艶黒色で塗り分け塗装を行う。塗りわけ部分は下図参照。  
塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行なう。

注！

本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。

注！

60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

## II モールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、モールを貼り付ける部分を脱脂し、⑦プライマーを塗布する。

注！

プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷める為はみ出し等に気を付けて作業する。

2. 下図の要領で⑨エンドモールの離型紙を剥がしながら貼り付ける。

注！

モールの圧着の際は、49N (5kgf/cm<sup>2</sup>) 以上で圧着する。

